

## ディスクロージャー優良企業受賞に寄せて

SCSK株式会社 取締役専務執行役員 福永哲弥

このたび、SCSK株式会社は「平成27年度 証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定」のコンピューターソフト部門において1位となり、同部門における「ディスクロージャー優良企業」に選定いただき、大変光栄に思っております。

当社は、2011年10月の住商情報システム株式会社と株式会社CSKとの合併以来、事業の効率化、業務品質の向上など、経営・収益基盤の拡充に努めてまいりました。

その結果、15年3月期までの3年間は、売上高でCAGR（年平均成長率）4%、営業利益で同18%の成長を遂げ、合併時に掲げました中期経営計画目標を達成しております。

また、合併後、役職員の心、そして、企業文化を一つにすべく、「働きやすい、やりがいのある職場環境」の提供に注力し、ワーク・ライフ・バランスの追求、ダイバーシティの推進、社員の健康増進など、様々な人事・労務施策を展開するとともに、「働き方改革」による業務効率・生産性向上に取り組んでまいりました。これらの取組みにより、働き方の改革と女性人材の活用を積極的に進めている企業の一つとして「なでしこ銘柄」に、社員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる企業として「健康経営銘柄」に選定され、ご評価いただいております。

今後は企業としてのより高い成長力の醸成を軸に、事業構造の転換を図り、更なる事業・収益力の強化拡大に努力してまいります。また、同時に、適正なガバナンス体制と監視体制の強化、継続的なリスク管理をもって経営の透明性を確保し、経

営の健全性の維持・向上に努めてまいります。

当社におきましては、これらの当社の取組みや方向性について、株主・投資家をはじめとする様々なステークホルダーの皆さまのご理解を深めていただくため、各四半期の決算説明会、中期経営計画の説明会に加え、注目度の高い戦略的事業については個別説明会を開催するなど多くの情報発信の場を作ってまいりました。また、財務情報のみならず、「働き方改革」による業務効率化・生産性向上の各種施策や結果について都度の公表を行い、更には、年間200回を超える投資家ミーティングを実施するなど、国内外の投資家の皆さまへの情報開示を充実すべく努力を続けております。なお、各種の情報開示にあたっては適時・公平かつ公正な開示に努め、例えば、決算関連情報につきましては、事業実態をより端的に示す業種別の開示、コスト分析に有用と考える原価明細、また、戦略的な事業投資関連の情報開示を行うなど、株主・投資家の皆さまに対して多面的な情報開示を心掛けております。

昨今のIRを取り巻く環境においては、株主・投資家と企業経営者が建設的な対話をもって信頼関係を築き、その信頼関係の上に企業経営者も今まで以上に強い自覚と責任をもって企業経営にあたるのが求められていると考えております。今後とも、当社の方向性を理解していただくべく、株主・投資家の皆さまをはじめとする様々なステークホルダーへの積極的な情報開示に努めると共に、企業としての社会的責任（CSR）を強く意識した経営を行ってまいります。